決算特別委員会を設置

11月に決算審査

9月定例会最終日に、市長から平成15年度一般会計及び特別会計決算の認定議案が提出され、議会は決算審査のため決算特別委員会を設置しました。審査報告は12月定例会初日に行います。

（日程等は8面参照）

■一般会計決算特別委員会

◎永田　政弘　○斎藤　敦
石塚　信治　岩本　博子
加藤　俊彦　木村まゆみ
斉藤　一夫　斉藤　進
佐野　郁夫　住田　景子
立花　隆一　津本　裕子
華表　暁　橋本　久雄

■特別会計決算特別委員会

◎浅倉　成樹　○常松　大介
鴨打喜久男　小林　秀雄
桜田　誠　佐藤　充
島村　速雄　高橋　勇
高橋　信博　高橋　三男
苗村　洋子　西　克彦
原　邦彦

◎＝委員長　○＝副委員長

各議案の市長提案説明の要旨は次のとおりです。

【一般会計】

市を取り巻く重点課題に効果的かつ効率的に対応するために、平成15年度予算を「財政健全化を推進しつつ、活力を育むまちづくりを実現する予算」と位置づけ、第3次行財政改革推進プランに沿った事務事業の見直しなどを積極的に行い、予定した諸事業を滞りなく実施しました。

歳入では、市財政の根幹をなす市税は、景気低迷により、平成9年度をピークとして以来6年連続して減収になりました。

歳出は、前年度に引き続き財政健全化を基本に据えて、経費節減に努め、限られた財源をより効率的、重点的に配分し、多様な財政需要にこたえるよう努めてきました。具体的には、土地開発公社が先行取得した事業用地の購入促進に努めるなど、実質的な債務の減少に努めました。新たな事業としては、旧小川東小学校を改築し、市民活動の拠点として「小平元気村おがわ東」を開設し、また、市民の交通利便性の向上を図るために、コミュニティバスの試行運行を始めました。

なお、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は前年度に比べ1・5ポイント減少し、また、財政の健全性を示す公債費比率も0・6ポイント後退しましたが、財政健全化に向けての取り組みを一層確実なものとし、時代の変化に適合し得る財政体質の改善等に努力していきます。

【国民健康保険事業特別会計】

保険税は増収となりましたが、保険給付費は、前年度に比べて、大幅な増となりました。繰入金は過去最高の額となり、保健事業では、人間ドック利用費補助を今年1月から実施しました。

【老人保健特別会計】

対象者は約1万7千5百人で、1人当たりの医療費は約63万5千円でした。対象者数は、年齢の段階的な引き上げにより減少しましたが、高齢化の影響で1人当たりの医療費は前年度に比べ増となりました。

【介護保険事業特別会計】

第1号被保険者（65歳以上）は約2万9千8百86人、要介護等認定者は4千百53人となり、ともに前年度より増加しました。また、保険給付費も前年度に比べ増となりました。

【下水道事業特別会計】

下水道管渠（かんきょ）に係る維持・建設等が主な事業で、公共下水道雨水整備事業では、石神井幹線等を前年度に引き続き計画的に進めました。

【受託水道事業特別会計】

水道施設の拡充、既存施設の整備等を図り、施設の安全性、効率性の向上に努めました。主な事業は都の受託事業で、配水管新設工事等を実施しました。

補正額は、歳入歳出それぞれ4千8百7万1千円の増額で、補正後の予算総額は66億3千百87万1千円となりました。

平成16年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）

平成15年度下水道事業の完了に伴う前年度繰越金の確定等により補正を行うものです。

補正額は、歳入歳出それぞれ3千7百26万7千円の増額で、補正後の予算総額は58億7千6百86万7千円となります。

小平市立公民館条例の一部を改正する条例

鈴木町二丁目の都営住宅建てかえに伴い、都と小平市が協定に基づいて、小平市が無償使用する同住宅内の施設を、鈴木公民館として設置するための改正を行うものです。

なお、本条例については、平成16年10月5日に施行されました。

▶10月5日にオープンした鈴木公民館

主な議案

9月定例会

可決または同意のあった議案から主なものをお知らせします。

平成16年度一般会計補正予算（第1号）

主なものとして、平成15年度事業終了による前年度繰越金の増額と、普通地方交付税の確定による減額、緊急地域雇用創出事業に関する補正を行うものです。

繰越金については、財政調整基金への積み立てや道路などの整備に、また、緊急地域雇用創出事業では、台帳整備や市内施設の剪定業務などを行います。その他、国や都から新たな事業の実施が加わったことなどに伴い事業費を増額等しました。

補正額は、歳入歳出それぞれ2億2千6百93万円の増額で、補正後の予算総額は、5百36億3千6百93万円となります。

平成16年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

前年度繰越金の確定と、老人保健拠出金及び介護納付金の額が決定したこと、また退職被保険者等療養給付費等交付金に返還金が生じたこと等により補正を行うものです。

補正額は、歳入歳出それぞれ1億1千7百43万2千円の増額で、補正後の予算総額は百30億4千8百43万2千円となります。

平成16年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

平成15年度の保険給付費等の確定に伴う精算を目的としたもので、歳入では繰越金を増額し、歳出では介護給付費準備基金への積立金などを増額するものです。

同意

任期満了に伴う教育委員会委員の任命、及び固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める議案が提出され、次のとおり同意しました。

小平市教育委員会委員

小池　貞雄氏
坂井　康宣氏

選挙

任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ、次の方が当選されました。

小平市選挙管理委員会委員

高橋　正美氏
丹生　昇氏
園部　文哉氏
塩谷　公夫氏

小平市選挙管理委員会委員補充員

阿部章の進氏
金子　嘉宏氏
島田　國雄氏
山口　勝氏

小平市固定資産評価審査委員会委員

松原　幸惠氏

議会人事

小平市民生委員推薦会委員

鴨打喜久男議員
斎藤　敦議員

議案に対する各会派の賛否

9月定例会

〈議員提出議案〉

○：賛成　×：反対　　（　）内は各会派の議員数　※政和会の会派所属議員数は議長を除く数

議案番号	件名	政和（7人）	公明（6人）	フォ（5人）	緑ネ（5人）	共産（4人）	議決結果
第32号	農業委員会の必置規制の堅持と交付金の維持・確保等に関する意見書	○	○	○	○	○	原案可決
第33号	中央自動車道高井戸・八王子間の料金撤廃を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
第34号	郵政事業民営化に慎重な議論を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
第35号	多摩地域の地下水を水道水源として安定的に飲み続けることを求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
第36号	地方分権推進のための地方財源確保に関する意見書	○	○	○	○	○	原案可決
第37号	日本歯科医師会連盟からのヤミ献金事件の徹底解明等を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
第39号	国立精神・神経センター武蔵病院の深井戸の井戸水から砒素（ひそ）が検出されたことについての解明等を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決

〈市長提出議案〉

議案番号	件名	政和	公明	フォ	緑ネ	共産	議決結果
第55号	小平市教育委員会委員の任命同意	○	○	○	×	×	同意
第56号	小平市教育委員会委員の任命同意	○	○	○	×	×	同意
第57号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任同意	○	○	○	○	○	同意
第58号	平成16年度小平市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
第59号	平成16年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
第60号	平成16年度小平市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
第61号	平成16年度小平市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
第62号	小平市立公民館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
第63～75号	市道路線の認定及び廃止（12路線の認定、1路線の廃止）	○	○	○	○	○	原案可決

会派名略称　政和：政和会　公明：市議会公明党　フォ：フォーラム小平　緑ネ：緑・ネット　共産：日本共産党小平市議団